

令和3年度第3回 淀川区区政会議 議事要旨

日 時：令和4年3月23日（水） 午後7時00分～午後9時01分

場 所：淀川区役所 5階 会議室

出席者：

- ・ 委員（25名中18名出席）
浅井委員、大屋委員、加藤委員、杉本委員、寺田委員、中井委員、永野委員、中本委員、西岡委員、西川委員、西澤委員、平野委員、水本委員、森委員、山本（宗）委員、山本（留）委員、横山委員、米田委員
- ・ 区役所
岡本区長、中喜多副区長、久保総務課長、田口政策企画課長、畑中市民協働課長、浅雛保健福祉課長、井上教育支援担当課長、武田保健・子育て支援担当課長
佐伯政策企画課長代理、山崎市民協働課長代理、舟木市民協働課相談調整担当課長代理、生駒市民協働課教育支援担当課長代理、大畑保健副主幹、山村保健福祉課業務調整担当課長代理、森川保健副主幹 ほか

内 容：

1. 開 会
2. 区長あいさつ
3. 議 題
 - (1) 令和3年度第1回淀川区区政会議 各部会報告について
 - (2) 区政会議におけるご意見への対応方針について
 - (3) 令和4年度淀川区運営方針（案）について
 - (4) 令和4年度淀川区関連予算（案）について
 - (5) 新たな淀川区将来ビジョンの策定について
 - (6) 区政会議オンライン参加に関する事務取扱いについて
 - (7) その他
4. その他

資 料：

【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 区政会議委員名簿、座席表
- ・ （資料1）令和3年度第1回 各部会議事要旨

- ①教育・子育て部会
- ②安全・安心なまち部会
- ③コミュニティ力向上部会

【事前配付資料】

- ・（資料２）区政会議におけるご意見への対応方針
- ・（資料３）【概要版】令和４年度 淀川区運営方針（案）及び改定履歴
- ・（資料４）淀川区令和４年度区長自由経費予算事業一覧
- ・（資料５）令和３年度第１回淀川区区政会議部会における区政会議委員の意見を参考に、新たに取り組んだものの例
- ・（資料６）新たな淀川区将来ビジョンの策定について
- ・（資料７）区政会議オンライン参加に関する事務取扱いについて
- ・（資料８）令和４年度淀川区区政会議開催スケジュール案
- ・（資料９）淀川区区政会議委員紹介名簿
- ・（参考）令和３年度淀川区民アンケート結果について（第１回）（第２回）

１． 開会

２． 区長あいさつ

３． 議題

（１）令和３年度第１回淀川区区政会議 各部会報告について

- 資料１－①教育・子育て部会について報告（発表者：中本委員）
- 資料１－②安全・安心なまち部会について報告（発表者：永野委員）
- 資料１－③コミュニティ力向上部会について報告（発表者：山本（宗）委員）

○質疑

- ・安心・安全なまち部会と、こちらのコミュニティ力向上部会で要援護者に関する同じようなテーマがあるのですが、今後、それぞれの部会で議論していくと考えればいいのですか。同じようなテーマをやっているのであれば、その議題だけでも一緒にディスカッションできればいいのかと思います。（山本（宗）委員）
- ⇒要援護者名簿は、保健福祉課と市民協働課が関わっていますので、今回はこのように分かれてという状態ですが、将来的にはおっしゃるようなことも想定されると思いますし、次年度、部会でどういう議題にすればいいかを事務局としても考えたいと思います。（田口政策企画課長）

- ・木川南地域でも、町会費の回収は、数年前の 1,500～1,600 件以上あったのが、現在 1,250 ぐらいになっています。ただ、若い方で地域活動に参加いただける方が 3 人ほど出てきていただき本当にありがたいです。SNS や LINE だけではなく、やはり対話での説明により、納得して参加いただける方がおられるということ为先般経験いたしました。他の地域の実情を、お聞きしたいと思っています。(中井委員)

⇒町会加入世帯数の減少についてそうならないようにどうしていくかということは、これからもコミュニティ力向上部会として議論していかないとけないとテーマだと思います。(山本(宗)委員)

- ・私の町会では、新築マンションに PTA 会長がおられ、マンションとしての町会加入について理事会を開いたけども、若い方が町会に入る必要はないということで理事会で承認されず町会に入れなくなりました。もう一つ、30～40 年ずっと町会に入っていたマンションで、町会費を払いたくない人が大多数おられ、また判例でも管理費と町会費を一緒に集めることができなくなったことで、急に町会を脱退されました。私達がいくら一生懸命やっても行政や裁判が私達と反対の方向を向くと、町会加入数がどんどん減っている中でジレンマを感じてしまうので、そこを何とかしていただくか、それとも町会そのものをやめて、会費ゼロのボランティア団体を有志で設立し誰でも参画できるという話にするか、どちらかになってしまうのではないかと不安を感じています。(杉本委員)

⇒若者をどう引き込むかということについては、3 つの部会共通のテーマであると思いますので、全部会で考える機会もあればいいのかなと思います。(横山委員)

- ・小さい子どもさんがいらっしゃる方は子ども会に入って、子どもと一緒にたこ揚げがあつたり、地域の活動があつたりというメリットはあるのですが、子どもが学校を卒業した年代となると、何のために町会に入っているか分からないとみんな脱会していくのです。私の地域では、地域活動協議会で運動会や敬老会をしますが、町会に加入していなくても参加できます。防災に関しても、町会に入らなくても物資は頂けるので、町会に入っているメリットは何ですかということを聞かれ、地域でその話をしてもなかなか通じないところがあります。転入して来られる方がまず区役所に来られますので、まず区役所から、町会に入るメリットを大きく話をしていただき、また、私たちボランティア住民からも発信できるのではないかと感じています。(米田委員)

- ・要援護者名簿の件ですが、以前は災害時に小さな子ども、障がいのある方等だったのが、今は対象者等がだんだん変わってきています。社協の方からも、

今はぼんやり皆さんが見守ってくださったらいいという感じで説明を受けます。今まで訪問したり、顔を見かけなかったら元気かなと声かけしたり、お電話をしたり等をしていたのですが、本当にどこまでする必要があるのかなということを感じています。（米田委員）

- ・西三国地域では、子どもが校区外の小学校、中学校に通えるようになってきています。今まで町会に入っていたのが、校区外の小学校に子どもが行っているので、西三国の子ども会の行事には参加できないということで町会はやめられるという方がたくさんおられます。

防犯灯の電気代や修理費用が全部町会から出ていること、夜に防犯灯がなければ地域の周辺が真っ暗になることを説明しますが、なかなか実感していただかず、脱会される方はすごく増えてきています。今日もワンルームマンションを建てられるところとお話しをしましたが、町会に企業として入ってくださいというお願いになりました。やはりそういうことも考えていかないといけない時代になってきたかなと感じています。（大屋委員）

（２）区政会議におけるご意見への対応方針について

（３）令和４年度淀川区運営方針（案）について

（４）令和４年度淀川区関連予算（案）について

●資料２、資料３について説明（田口政策企画課長）

●資料４について説明（久保総務課長）

○質疑

- ・前年度に終了した、困窮家庭向けの教育支援の「子ども未来輝き事業」に該当するものはこの予算一覧にありますか。（永野委員）

⇒子ども未来輝き事業に該当するものは、ここには予算的には載っていません。別の支援する事業があり、そこに移行する形になっています。（浅雛保健福祉課長）

- ・芝生化事業がゼロになったのが、少し切ない思いです。（杉本委員）

⇒この事業は、３年間で芝生を整備して、地域で管理をしていただく事業です。ただ３年後は、事業としては終わりとなり、後は地域でボランティア等のご努力で行っていただくということで、最終的に事業が終わってしまったということです。（岡本区長）

（５）新たな淀川区将来ビジョンの策定について

●資料６について説明（田口政策企画課長）

○質疑

- ・新大阪駅のメリットを活用したビジョン、新大阪駅から一步お客さんに出ていただけるビジョンになればありがたいと思っています。(杉本委員)
- ⇒淀川区は、新大阪、十三、淀川河川敷と非常にブランド力の強い観光資源がたくさんあります。それについて、あまり計画の中にきっちり盛り込まれていないと思ってしまして、それも一つの柱にしていくべきだと思っています。淀川区を、全国、場合によっては全世界に発信できるようなそういう魅力のあるまちだということ、外部の人が淀川区に来ていただいて、そこで楽しんでもらったり、場合によっては定住していくという道筋も含めて、このビジョンの中で書き込めたらと現時点ではと思っています。(岡本区長)
- ・区の将来ビジョンというのは、大阪市から作りましょうという話が下りてくるものなのですか。(横山委員)
- ⇒橋下市長の時代に、24区がそれぞれの個性を出して競い合うことでそれぞれの区がよりよいものになっていくために、区役所ごとにビジョンを出して、魅力発信をしていきたいと思いますということで、各区、平成24年度から25年度にかけてスタートしていたと思います。各区役所のビジョンは何か似たり寄ったりで同じようなビジョンが比較的多い印象ですが、その中でもきらっと光っているビジョンもありますので、参考にしながら、淀川区の独自色があるビジョンができればと思っています。(岡本区長)
- ・大阪、十三、新大阪をつないだ中で、十三の開発が一番遅れているのではないかと思います。淡路も含めての連携の中での新大阪が出てきますので、ビジョンと言っても、なかなか私達の中では構想が出てこないというのが実情です。(中井委員)
- ⇒リニア新幹線が名古屋まで来れば、次は大阪、新大阪の方まで来ます。一方で北陸新幹線の終着駅は新大阪になりますので、大阪駅や難波、九州へ行く通過点ではなく、何とかして淀川区に降りていただいて、滞在してもらえものを作っていかなければいけない。例えばMICE(マイス)と言う、国際会議場や見本市会場等のような施設を新大阪に呼び込むことで、ホテル等の民間出資が出てきますし、活力あるものにしていければと思います。新大阪だけではなく、十三、淡路の区間を新しいまちに変えていきたいという構想がありますので、今後、国と大阪府と大阪市の本局の部署としっかり議論をしていきたいと思っています。十三の区役所跡地では、ファミリー向けのマンションの建設が進んでいますが、区としても定住人口を増やしていくというまちづくりを進めていきたいという思いですので、委員の皆様にも、将来こんなまちがいいのではないかという御提言をいただければありがたいと思っています。(岡本区長)

- ・将来ビジョンでは、都市計画や国の動きや指針等、イメージをふくらませるものを情報提供いただかないと議論することがなかなかできないです。(西澤委員)

⇒今後、将来ビジョンの策定にあたり、新大阪や淀川河川敷での動き等、議論前の土台となる情報を知っていただいてから議論していただきたいと思っていますので、先に資料を読み込んでいただくお手間が少しかかるかとは思いますが、御協力をお願いしたいと思います。(岡本区長)

(6) 区政会議オンライン参加に関する事務取扱いについて

●資料7について説明 (田口政策企画課長)

○質疑

- ・次回からオンライン参加の要望があればするということですか。(杉本委員)

⇒事前にアンケート等で、皆さんにオンライン参加されるかどうかをお伺いさせていただきたいと思います。仮にオンライン参加しないということであれば、いつもの形式で実施します。(田口政策企画課長)

- ・機器は用意できるけれども、やり方が分からないという場合、例えば、実践勉強会等の予定はありますか。(横山委員)

⇒委員の皆さんと相談させていただきながら対応させていただきたいと思っています。(田口政策企画課長)

(7) その他

●資料5、資料8について説明 (田口政策企画課長)

○質疑

- ・淀川区の将来ビジョンについて、私なりの私案を描いてみました。淀川を中心に、阪急電車の線と地下鉄の路線の間の淀川の利用方法を漫画風に描いてみましたので、見ていただけたらと思っています。(森委員)

- ・安全・安心なまち部会の際に、委員と区役所の方が面と向かって座る形をやめられないかと意見が出ました。職員との距離が遠過ぎて、あまりお話もできませんし、各部会に関係部署の職員が入っていただく等、もう少し形を工夫していただいてもいいのではないかと思います。(永野委員)

⇒今日は全体会議ということで、皆さんが距離をあけて、なおかつ、職員も委員さんの方を向いてということでしたが、私個人的にも、良い案だと思っており、将来的にも実現したいと思っています。(田口政策企画課長)

- ・区民アンケートの結果で、安全・安心なまちづくりのところを見ると、

若い人もお年寄りもスマホを使った情報の取得を結構しておられるみたいで驚きました。私はテレビを主張したのですが、意外とツイッターやホームページ、特にLINEが多く驚きました。その辺での情報発信というのは、もっと大いにやっていただければ成果が上がるのではないかと思います。アンケート結果を分析していただいて、よりよく使っていただければと思います。(杉本委員)

⇒区役所としては、区民アンケート結果は、今後施策展開する上での貴重な情報であると思っていますので、丁寧に分析していきたいと考えています。

(田口政策企画課長)

・資料4の自由経費の中で、不登校に関して何か予算を付けてしていただけることがあるのでしょうか。(西川委員)

⇒区役所で予算を組んで不登校対策を何かできないかを、以前、大正区役所の副区長のときから、いろいろ検討したこともありまして、例えば、不登校の家庭に委託事業者にお迎えに行っていたいただいて登校を支援するとか、教室に入れない子どもたちに特別に授業をするようなことを委託事業者で実施していたこともあります。残念ながら淀川区役所は実施していません。教育委員会自体は、不登校対策で、自由に登校できるフリースクールを浪速区に設置していこうということで、来年度予算で予算化されると聞いています。

不登校の子どもたちは、同じ対応で全部できるわけではなくて、個別のそれぞれの子どもたちに合った形の対応をしていかなければいけないので非常に難しい。そういう意味で、淀川区役所で力を入れているのはスクールカウンセラーで、他の区役所はなかなか充実ができていないのですが、淀川区の小学校、中学校はスクールカウンセラーの配置がしっかりできています。今年度もさらに1名増強していますけれども、このスクールカウンセラーで、子どもたちの悩みをしっかりと聞いて、子どもたちの実情に応じた形の対応をしていければという状況です。(岡本区長)

⇒コロナ禍にあって、不登校の子も増えてきている中で、居場所もない。今は学校自体も親御さんも、以前みたいに絶対に学校にという方向性ではないとお聞きしています。その中で、淀川区で予算の問題もあると思いますが、やはりここにだったら通えるという居場所の取組をしていただいて、民生委員、主任児童委員も巻き込んでしていただきたいと思っていました。(米田委員)

⇒私の主観も大分入っていると思いますが、不登校対策は、必ずしも学校に登校することが是ということではないという考えでいいのであれば、やはり子どもたちが学校ではないところで安らげる居場所づくりだと思います。

大正区では、例えば、高校の談話室的なところを借りて、中学生で学校に行けない子どもたちに、そこに行けば、お兄さんやお姉さん等にいろいろ話が聞いてもらえるという取組ができないかというのを進めていました。今は大正区でどこまで取り組んでいるかはありますが、そういう取組もあるかと思っています。別に高校だけではなく、地域でそういう居場所づくりをして、話を聞いてあげる方が、地域の中で確保できるのであれば、子どもたちが学校には行けないけれど、ここであれば週に1回でも、2回でも行けるといふ安らげる場所を作ってあげることができればと思っています。具体的にどこまで淀川区で実現できるかというのは、これから区役所内でいろいろ議論していきたいと思っています。(岡本区長)

⇒不登校の中学生が高校に行きたいけど、学校からの情報がないので子どもたちはどうしたらいいかという事例がありました。やはりその場所が、情報収集ができる場所であることがすごく必要ではないかと思います。(米田委員)

- ・令和3年度の運営方針の取組目標でもありました若年層向けの防災啓発動画が完成し、周知用のチラシをお手元に配付しています。クイズ動画10本で、1本が1分ほどのクイズを通じて、防災の知識を得ていただくものになっていますので、ぜひ御視聴ください。令和4年度の第1四半期で集中的に広く周知していきたいと考えていますので、隣近所、お知り合いの方に、口コミをしていただけると非常にありがたいです。(瀧谷市民協働課担当係長)